

おとなりさんは外国人
家の中に世界がある



PHILIPPINES

高井 マリアさん
Maria Takai



Q 休みの日は何をしますか？
趣味は何ですか？

友達に会って食事をしたり、お風呂屋さんに行ったりしますが、ときどきフィリピンナガイサのミーティングもあります。第2・第4日曜日はカトリックの教会に行きます。まとまった休みを取ってフィリピンに帰り、同窓会に参加することもあります。アメリカ、サウジアラビアなど、同級生も世界各国で暮らしているのでも楽しんでしています。

料理が得意なマリアさん。キッチンには様々なフィリピンの調味料が

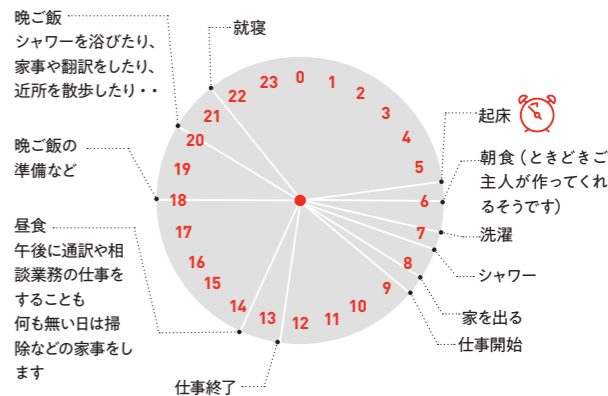


息子さんが野球部で受賞したトロフィーや盾。小学校から高校まで休みの日はお茶当番、送迎、応援に行っていました



玄関にあるキリスト教のサントニーニョ人形。サンバギータのドライフラワーが特徴的

Q 1日のスケジュールを教えてください



Q 出身地について教えてください



ルソン島にあるパンパンガ州から来ました。マニラの北にあります。空気と水がきれいな田舎です。父は大工で、ナラの木の家具を作っていました。母は花屋でした。子供の頃は、イランイランやサンバギータなどの花のネットワークを売るのを手伝っていました。



Q 家族構成を教えてください



○ マリアさん
おしゃべりが好き。家の外まで聞こえる笑い声と笑顔がとっても素敵です。
○ 主人
寡黙で優しいご主人。マリアさんはご主人の男らしいところが好きだそうです♡
○ 娘さん(26歳)
カラオケが得意な明るい長女。お母さんの作るフィリピン料理が好き。
○ 息子さん(23歳)
おしゃれな長男。モデルをしたり、DJをしたりしています。
○ 息子さん(20歳)
体育会系の次男。家の中には野球部時代に受賞した思い出の品がたくさんあります。

Q どんな仕事をしていますか？

NPO法人フィリピンナガイサの副理事長として、授業や教室のコーディネートをしています。また、「浜松市立小・中学校外国人児童生徒就学サポーター」として、日本の学校に在籍するフィリピン人の子供たちの学校生活のサポート、校内での通訳・翻訳をしています。毎週木曜日はHICEの相談員として、浜松で暮らすフィリピン人に対する相談業務も行っています。



HICEと共催で行ったフィリピンナガイサの活動(中央右から2番目)

Q 大切にしているものを見せてください



友達からもらった写真アルバム。写真(中央左)は学生時代にバスケの応援を頼まれたときのもの



妹さんからプレゼントされた8頭の馬の絵。フィリピンで8はラッキーナンバーだそうです



大学時代の友達から誕生日プレゼントでもらった高井家の看板



ご主人からプロポーズされたときのエンゲージリングと、マリアさんのお母さんから譲り受けたウェディングリング。普段は家族の写真とともに飾っています

Q 家の中のお気に入りのスペースは？

この家を建てたときに兄からもらった絵があるダイニングです。キリスト教の「最後の晩餐」がモチーフですので、食事をするとテーブルの近くに飾りました。



Q いつ、誰と日本に来ましたか？
どうして日本に来ましたか？

先に日本に来ていた親戚から仕事があると聞いて、1989年に来日しました。その後主人と出会い結婚しました。

Q 日本に来て驚いたことは？

成田空港から出て日本の道路を見たときに、クラクションを鳴らさない車、舗装されたきれいな道路に驚きました。

Q あなたにとって浜松とは？

浜松には川や山があり、人も優しく、私の故郷に似ていると思います。近所のおじいちゃん、おばあちゃんは、私に声を掛けてくれたり、野菜をくれたり、とても良くしてくれます。「そうだに」とか「ばかおいさん入っていますよ」。